

ひょうごブルーカーボン連絡会議

1 目的

水質浄化及び物質循環の機能を有し、多様な生物の生息・生育する場やブルーカーボンとして重要である藻場等の保全・再生及び創出を図り、「豊かで美しいひょうごの里海」を実現する。

2 事業内容

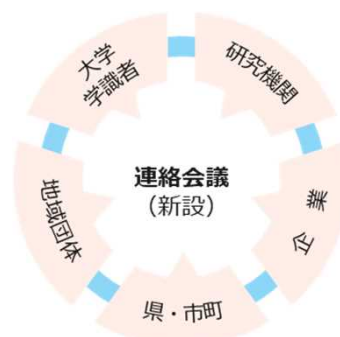
令和5年度の課題整理を踏まえ、藻場再生・創出手法、関係者との合意形成方法、法的手続き、簡易な調査化手法等を取りまとめたガイドブックを作成しHP等へ公開し、企業や地域団体でのさらなる取組促進を図る。

3 連絡会議の構成

区分	構成員候補
学識者	神戸大学特命教授 川井 浩史
	国立研究開発法人水産研究・教育機構 島袋 寛盛
	徳島大学客員教授 中西 敬
地域団体	須磨里海の会
	相生湾自然再生会議
	アマモ種子バンク
企業	江井ヶ島漁業協同組合
	兵庫県環境保全管理者協会
研究機関	兵庫県立水産技術センター
	兵庫県環境研究センター
国	環境省近畿地方環境事務所
	国土交通省近畿地方整備局
行政	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、
	明石市、加古川市、高砂市、播磨町
	姫路市、相生市、たつの市、赤穂市
	洲本市、南あわじ市、淡路市
関係機関	兵庫県漁業協同組合連合会
	大阪湾広域臨海環境整備センター
	(公財)ひょうご環境創造協会
事務局	兵庫県・(公社)瀬戸内海環境保全協会

4 令和6年度スケジュール

9月頃	第1回連絡会議開催 藻場再生創出事業の支援検討 クレジットに向けた検討 企業等での先進事例の紹介 ガイドブック骨子(案)の検討
2月頃	第2回連絡会議開催 ガイドブック(案)の策定 企業等での先進事例の紹介



豊かな海を育む「アマモ」